

令和3年12月10日（金曜日）

全国高等学校文化連盟、読売新聞社主催
「全国高等学校文芸コンクール」
小説部門「優秀賞」受賞



小説部門優秀賞
古舘 穂乃香さん
(盛岡二〇二年)

受賞作「呈色スケッチ」は、幼なじみの才能に嫉妬し陸上競技に挫折した女子高校生が、クラスメートに勧められた絵を描くことを通じて自分と向き合い成長していく姿を描いた。モデルは中学時代の自分だ。

自分自身をモデルに

承認欲求が強く、周りに流されやすい主人公。「自分も同じだが、書いていく中で自分の意見を貫こうと思えるようになった」と意識の変化を実感する。県のコンクール後、シーンの取捨選択など推敲を重ねて完成させた。

高校で文芸創作を始めた。文学研究部内で作品の助言をし合い、仲間の良いところを吸収している。これまで家族を題材にした作品が多く、「高校生にしか書けない青春や恋愛も書いてみたい」と意欲を燃やす。

(岩手日報)

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。